

平成 30 年度 地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業  
第 1 回地域リーダー養成講座「地域リーダーの役割とリーダーシップ」

## 事業報告書

日時	平成 31 年 2 月 2 日（土）14:00～16:00
目的	地域活動における男女共同参画を推進するために、本講座では、地域リーダーとしての役割について学ぶ。
対象	地域リーダーを目指す方、関心のある方
講師	ローカルファシリテーション研究所 所長／代表取締役 関 幸子 氏
会場	沖縄県男女共同参画センターていりる 3 F 研修室 1・2
参加者数	24 名 （ 女性 18 名 ・ 男性 6 名 ）
講演内容 (次第)	<p>「地域リーダーの役割とリーダーシップ～自分が輝くときをつくる～」 自己紹介の中から時代変遷を知る</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方創生ってなに？なんで人口が減ったの？ <ul style="list-style-type: none"> <li>●首都圏の将来人口予想図／沖縄県の人口推移</li> <li>●人口減少の要因（地方と 3 大都市）／未婚と出生率の低下／</li> <li>●地方版総合戦略と地域再生計画との関係</li> </ul> </li> <li>2. 急激に変化する社会だからチャンスあり <ul style="list-style-type: none"> <li>●消費社会の変化</li> <li>●ビックデータ／I O T／A I</li> <li>●官民データ活用促進基本法の制定（オンライン化原則・データの二次利用・クラウド化）</li> <li>●訪日外国人の実績の予測 2020 年には 4000 万人に／越境 E C の拡大</li> <li>●モノからコトへの経済（音楽業界の例：ライブツアーと地方創生）</li> <li>●シェアリングエコノミー／共有型経済へ／空いた空間を必要な人へ</li> <li>●新たな潮流 S D G s</li> </ul> </li> </ol> <p>リーダーとはリーダーになるには</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●どんな自分になりたい？</li> <li>●自分に自信を持ち信じる</li> <li>●キャリアを考える（年齢よっての優先順位が違う）</li> <li>●能力開発のアプローチ</li> <li>●リーダーは組織に働きかける人（マネジャー V S リーダー）二つの違い</li> <li>●リーダーシップ（推進力）とマネジメント（管理力）</li> <li>●リーダーに求められる要素（Care 気にかける／Appreciate 感謝する／Recognize 認める</li> <li>●リーダーシップ／パワーシステム／ビジョン</li> </ul>
講演内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己紹介／講師の経歴からみる日本の地域を取り巻く時代の変化</li> </ul> <p>三鷹市の公務員として働く中で、図書館行政から市の基本計画戦略部へ異動し、俯瞰してみる事を学び、総合計画を作成する際には、三鷹市は職員が基本計画を書くことで本物のまち作りを実践したことについて話した。</p> <p>東京都が開催している勉強会に参加した際に、バブルはいつか弾け、税収が落ちるため、それに備えるように地域行政は、地域産業政策（唯一お金を稼いでいい）で、地域の雇用、売上げアップを図り、地域を強くする事に備える必要性を知り、I T でのまち作りで三鷹市の実践例を挙げた。時代の変わり目が国の形を変えるため、地域リーダーとして活動するには、法律は地域を動かす道具になるので、法制度をしっかりと学ぶと良いと、受講者へアドバイスした。</p> <p>図書館は戦略的な位置づけとなる場所で、新しい情報を仕込む、または情報を得る拠点となり、</p>

図書館が拠点となって地域の企業を助ける事ができる為、利用することを勧めた。

●地方創生が始まった理由（人口減少を食い止めたい！）

・人口減少の裏側には

一番は賃金が低いこと。派遣法の制定で雇用の形態が崩れ、安い賃金で働く派遣社員が増えた事、女性の賃金が上がらない事。扶養控除の撤廃、結婚をしなくても良いという風潮。「未婚でもOK」という日本社会の流れ。生活に関わる社会サービスの充実（コインランドリー、コンビニや飲食店の増加）が重なり、一人で生活する事がより充実した為に子どもを産む機会が減った。特に3大都市（特に東京圏）が顕著に少子化は表れていると語った。

女性は結婚し出産時に退職し、パートになると生涯賃金は2億円以上損失となる。正職員のまま子どもを産んで、働くことで、女性の自立となると話した。

未婚・非婚化の要因として、①おひとり様の生き方容認②雇用不安③低い出生率④子どもを育てるのにお金がかかる。この4点を挙げた。

国の取り組みとして、安定した雇用を創る／若い世代の結婚出産の希望の実現／移住定住（北海道・青森・岩手・秋田）／時代に合った地域作り（個性的なまち作り）に力を入れていると紹介した。

●沖縄チャンスがたくさんある！

消費社会の変化により、第4の消費社会、シェア志向、地方志向、自己充実としての消費へ向かっている。シェアハウス、地域貢献、ふるさと納税、エコカーなどを紹介。

訪日外国人の実績と予告では、訪日外国人が2020年には4000万人と2030年にはイタリア、フランス並みの6000万人になることが予測されている。沖縄は、訪日客の対応に向けて、カード決済や、QRでの決済の整備や導入がチャンスとなっている。その仕組み作りが沖縄の企業や地域にプラスになると話した。

越境ECの拡大で、ネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引の拡大している。

爆買いではなく、お試して商品を買って、日本の通販サイトで再購入する事が増加している。通販サイトの多言語化でチャンスを掴むことができると可能性を伝えた。

2015年に官民データ活用促進基本法が成立して、オンライン化が原則となり、市役所などの窓口業務がなくなり、その他の費用は、教育やその他の重要な分野に当てることができると紹介した。

モノからコトへの経済（音楽業界の例：ライブツアーと地方創生）

東方神起のライブツアーで、ライブ開催の街や地域と共に公共交通コラボレーションしたことで、多くの経済効果が生まれる事を紹介、沖縄でライブを伴う事業（会場作り、宿泊施設、公共交通の整備など）の可能性を挙げた。

●リーダーの役割とは、リーダーになるには！

リーダーシップとマネジメントの違いを紹介し、リーダーとは、人の能力を引き出す事ができる、日本が地域を変えたい事を知っていて、どう地域が変われば良いか知っているという方向が見える人、進むべき方向を見せてあげる人だと話した。また、なぜ今やらないといけないのかという動機付けを出来る人がリーダーであると話した。

リーダーとなるには、自己肯定ができ、自分を確立する事が大切だと伝えた。

参加者の声

（自由記載欄より抜粋）

・自らのキャリア形成につなげていけるように頑張ります。  
・とても勉強になりました。今回の講座で得た知識を整理して今後自分がやってみたい事に役立てたいと思いました。

・沖縄の将来性とそのことを県民主体で創っていくために私達県民一人ひとりが意識すること、努力することを提起して下さってありがとうございました。

・沖縄は未来産業のある県にもっと希望と計画と挑戦と感じた。

写真



主催等

主催：沖縄県・（公財）おきなわ女性財団  
共催：内閣府